

平成25年度 見附市音楽部 活動報告

部長 笹川 真理子

1 夏期研修会

研修テーマ「歌うことの大好きな子を育てるために」

講師 長岡市立新町小学校 教諭 大矢 啓子様

平成25年8月21日 見附市文化ホールにて

子どもたちが自信をもって意欲的に歌いたくなるための指導法をたくさん教わりました。歌声を作るには、まずは地声を出させて違いを実感させることから始めること、呼吸の仕方、母音の響かせ方など、実際に体験しながら学ぶことができました。技能を高めることで、子どもたちは自信をもち、集中して教師についてくるということでした。特に、歌の「出だし」「息継ぎ」「終わり」に集中させることにより、みんなで合わせた歌の楽しさが感じ取れるということです。また、その大前提として、心を開放して表現できる力を育むためにも自分自身を出し合える学級作りが不可欠であることも強調されました。

研修の後半では、子どもたちが自然に身体表現をしながら歌うビデオを見せていただき、お話しされたことが、具体的な子どもの姿としてイメージすることができました。研修を通して、音楽に浸る楽しさと技術の両面で子どもたちを指導し、そこで得られた表現力を大切にしていきたいと強く思いました。



2 見附市音楽部事業

「見附市小学校音楽祭」

平成25年11月6日 見附市文化ホールにて

見附市内の全小学校（特別支援学校を含む）9校が集まって、音楽発表をしました。参加学年は、学校の規模により多少異なりますが、6年生が中心となって発表しました。オープニングでは、見附市の詩人である矢沢幸さん作詞の「一本のすじ雲」を全員で二部合唱しました。各校の発表は、合唱や合奏、和太鼓演奏など様々で、どれも聴き応えのあるすばらしいものでした。会場の鑑賞マナーもよく、落ち着いた中で音楽祭を開くことができました。また、音楽発表会に楽器係として参加された中学校の先生方からは、「中学校でも生き生きと歌う姿を大切にしていきたい」という声が聞かれるなど、小中学校の連携につながるよい機会となりました。来年度も会場いっぱい音楽の輪が広がることと思います。

